

19年間ありがとう エーハイム2015

愛知県一宮市・岩田誠治 様

私は常日頃から「水槽で飼育されている魚たちにとって不可欠で最も重要な生命維持装置がバクテリアの住みやすいろ過装置」だと考えております。以下に私の体験談を綴ってみました。

私が海水魚を観賞用として飼いはじめた頃は魚たちを飼育する装置も簡素でした。沢山の自然の魚の尊い命も奪いました。今の状態で魚たちを飼育するのは魚に可哀想だと思い、毎日本屋さんで数少ない専門書を立ち読みしたり私と同じ様に魚たちを観賞している周りの人から、参考になる意見や経験談を聞いて「結論の装置」として生物ろ過をしながら紫外線殺菌灯と接続して使用するためにエーハイム2015を購入しました。思えばこれが2015との長い、長い付き合いの始まりでした。何とこの2015ろ過装置としての役割を充分に発揮しながら約19年間の長きにわたって、快調に魚たちの生命維持装置として働き続けたのです。この19年の間にはOリングが劣化したため、1回交換しました。又、フックも1回交換しました。しかし、パワーフィルターに限らず上部式ろ過装置なども含めたポンプを使用したろ過装置にとって一番肝心な心臓部であるポンプ自体は一度もトラブルを起こすことなく稼動し続けてくれました。

ですが、さすがに19年間という長きにわたった連続運転で、昨年11月、突然インペラーマグネットが二つに割れてしまい稼動が不可能な状態になりました。私の頭の中はもう一度2015を復活させたい、させてやりたい、それだけで頭の中が一杯でした。すぐにあちこちのショップにインペラーの在庫について問い合わせましたがどのショップからもこの機種は生産中止で在庫がないとの返事ばかりでした。私の頭の中は何とかもう一度復活させたい、それだけでした。そして色々と試みましたが残念ながら修復に対するchallengeを断念しました。

エーハイム2015の耐久性やろ過装置としての素晴らしさに心から感謝するとともに「ありがとう エーハイム2015」と手を叩きたいです。

今日までに次から次へと色々なメーカーから低価額で取り扱いも安易な外部式フィルターが発売され、私もチャレンジ精神をフルパワーにして販売店に出向き何度も検討しましたが大切な自然の魚たちの命を預けるまでの信頼感は湧きあがりませんでした。ここに19年間使用した2015をエーハイムジャパンさんに送付いたしますので、あらゆる角度から色々検討され、今以上にハイレベルな製品を開発されて、子供さんからお年寄りの方々が自然界で泳ぐ姿を、茶の間に置かれた水槽という「小さな水溜り」の中でより長く魚が元気で泳ぐ姿を見て私たちの心を晴れ晴れとさせて頂けるようなそんな日々を願います。



岩田様のオーダーメイド水槽。海水魚たちが元気に群舞しています。



19年間稼動し続けた岩田様の2015。

— 補足説明 —

2015は1980年代初頭から1990年代初頭まで発売されたモデルです。外観は現行の2215とほぼ同様ですが、この当時は50Hz対応機と60Hz対応機が別々に生産されていました。現在の2215とはインペラー、スピンドルが異なります。